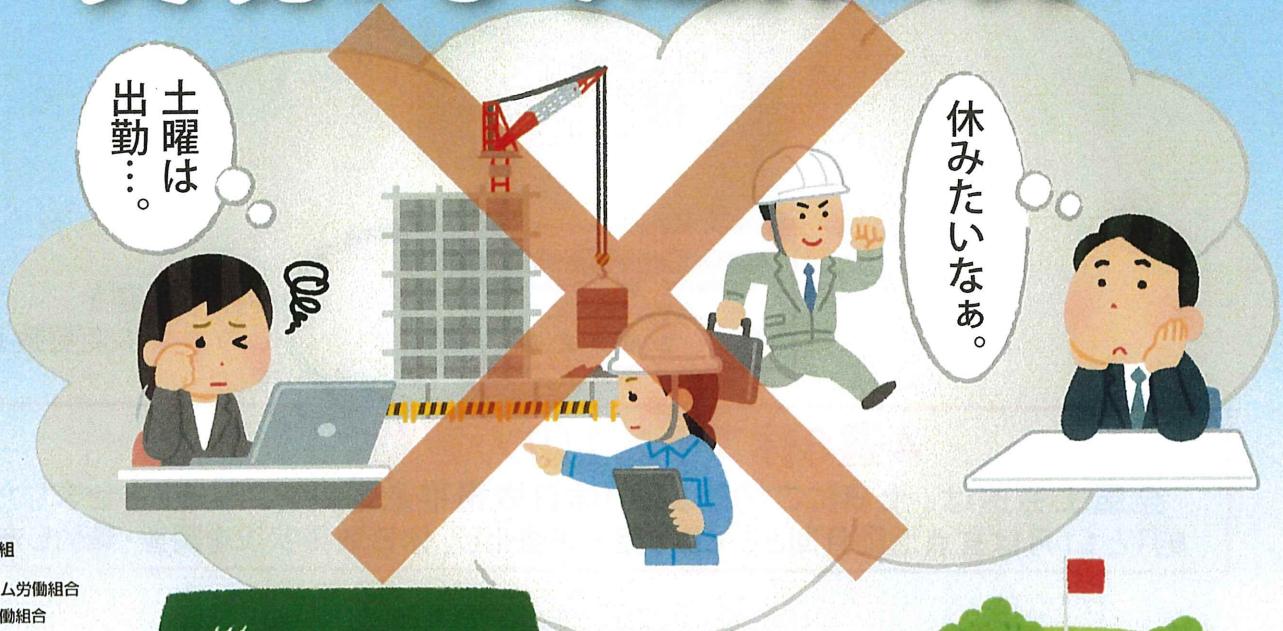
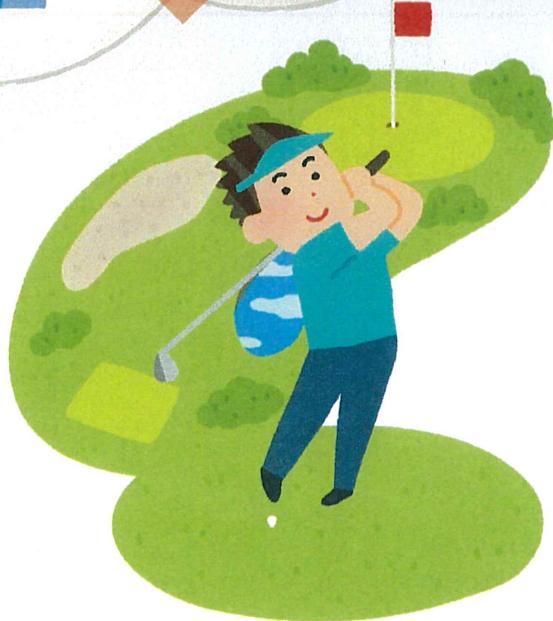


「いつもできる」じゃずっとできない 実現しよう週休2日



全電工労連加盟単組

東芝プラントシステム労働組合
OKIクロステック労働組合
弘電社労働組合
富士古河E&Cユニオン
NECネットエスアイ労働組合
日本電設工業労働組合
東邦電気労働組合
新生テクノス労働組合
日本リーテック労働組合
サンコムユニオン
住友電設労働組合
東光電気工事労働組合
北海電気工事労働組合
ユアテックユニオン
関電工労働組合
北陸電気工事労働組合
トーエネック労働組合
シーテック労働組合
きんでん労働組合
中電工労組
四電工労働組合
九電工労組



4週8休プラス1(ワン)運動

全電工労連は、土日にこだわらない
休日取得推進運動をスタートさせました

6月と11月は重点活動月間として取り組みを強化し、休日取得状況を調査・集約します

ワーク・ライフ・バランス実現のために建設産労懇の仲間とともに土曜閉所に取り組んでいます

(全電工労連・日建協・通建連合・道建労協・基幹労連建設部会・長谷工グループ労働組合)



今回のポスターのキャラクター
フレーズは、松本 伸洋さん
(筑島建設労働組合) の作品
です。

全電工労連



カエル! ジャパン
Change! JPN

2021年11月13日 統一土曜閉所運動の展開について

1. 組織名

全電工労連

2. 組織の概要

22加盟組合 約44,000人（前年度同期比+1,500人）
議長 葛西 満昭

3. 統一土曜閉所運動への取り組み

建設産労懇での取り組み開始（1992年）に合わせて開始

4. 具体的な取り組みについて**ポスター作製および配布**

建設産労懇共通デザインのポスターを使用し、各加盟組合に対してポスターの配布を行い、事業所への掲示を依頼した。

加盟組合企業への協力要請

各加盟組合が要請書およびポスターを用いて、各企業への協力要請を行った。

企業団体への協力要請

電気設備工事業界の企業団体である「一般社団法人 日本電設工業協会」に対し、協力要請を行った。定期的な意見交換の中で本運動の取り組みについて紹介し、理解活動を継続して行っている。（本年度 機関紙 No.126 参照）

5. 2021年11月13日 土曜閉所運動活動の結果（概要）**●全体**

調査対象組合員数	休日取得した組合員数	取得率
43,979人	33,602人	76.4%

●上記のうち、工事・施工部門

調査対象組合員数	休日取得した組合員数	取得率
35,056人	25,309人	72.2%

前回（2020年11月14日）と比較し、全体取得率が0.3ポイント下がった。

工事・施工部門の従事者は、今回の全体との比較では4.2ポイント低い結果となった。

全体として休日取得できなかつた主な理由として、「客先指示」「作業員不足」「建築会社工程の逼迫による影響」等要因が依然として挙げられており、今後も同じ傾向が継続すると予想される。

(自由意見)

- ・ゼネコンの工事進捗遅延によるしわ寄せ。
- ・急な設計変更や書類作成の指示があった。
- ・システム切替といった休日指定の工事。
- ・短期工期による土曜稼働現場の為。

6. 今後の課題、目標

全電工労連の決議機関である「加盟組合代表者会議」にて今回の結果を紹介するとともに、各々の労使が、働き方改革関連法が順次施行されていることを考慮に入れつつ、総実労働時間短縮および有給休暇取得日数の増加に向けて取り組んでいくために本データを活用していく。

以上